

# 岐阜信金の特許評価融資

## 春日井の会社、第1号実施

特許を評価された天井クレーンコントロール(右)と防汚性を向上した無機塗料をコーティングしたキッチン



岐阜信用金庫は19日、三菱総合研究所(東京)と連携して取引先企業が持つ特許を評価して行う融資の第1号案件として、塗料製造販売の五合(愛知県春日井市)に融資を行った。同社が持つ地球環境に配慮した無機塗料と、安全性を高めた天井クレーンコントロールに関する特許を評価。同製品が従来品より技術的に優位性があり、シェアアップなどの将来性が見込めると判断した。(高橋友基)

今回の融資は、企業の「企業特許レポート」アを中心に海外でも販が持つ特許の経済的価値を算出した三菱総研を活用し、成長分野の事業を手掛ける企業に融資する国内信金初の取り組みとして今月からスタート。財務諸表に表れない取引先の技術力を評価し、資金需要を掘り起こす。五合は2003年に設立。05年に防汚性を向上した100%無機塗料を発売。親水性が高い同製品を金属などにコーティングすると、水だけで汚れを落とすことができるアイデア商品。今後、アジアの資金に充てるとし、

融資額は非公表だが、知的財産関連事業の資金に充てるとし、

## ヘルスケアシステムズ的生活習慣改善モデルベンチャー事業最優秀に「NOBUNAGA21」が選出



太田裕之常務(左)から100万円の助成金パネルを受け取る瀧本陽介社長(中)＝岐阜市橋本町、じゅうろくプラザ

第十六銀行、野村証券、監査法人トーマツによるぎふ地域ベンチャー支援ネットワーク「NOBUNAGA21」の第11回ニュービジネスプラン助成金最優秀賞に、ヘルスケアシステムズ(名古屋市中区、瀧本陽介社長)の「食生活に特化した郵送検査キットによる生活習慣改善モデル」が選ばれた。授賞式では、十六銀

小川宏一社長は「力を知的財産戦略が評価されてきた特許などを入れてきた。今後もある」と話している。

十六銀行高富支店 取引先でつくる 六会は19日、親会、懇親会を 長良福光の岐阜 展を誓い合った 水谷直義会長、 タニバルブ工業 高富十六 会員企業 発展を誓